

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 8 日作成)

小委員会名	FRP 合成構造設計法小委員会		主 査 名：松本幸大 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会)		委員長名：五十田博 主 査 名：蜷川利彦
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>軽量・高強度な新構造材料である繊維強化プラスチック (FRP) 材料を用いた建築合成構造を設計する際に必要な、設計法について検討し、構造設計者等が FRP 材を用いた構造物の設計が可能となるような刊行物『繊維強化プラスチック (FRP) 合成構造設計指針 (案)』を執筆・出版し、講習会を通して公表することを目的とする。</p> <p>FRP 材を用いた設計例などの参考資料の充実を図るとともに、設計関係者への発信を行う。</p>		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：松本幸大 (豊橋技術科学大学) 幹事：米丸啓介 (清水建設) 委員：金久保利之 (筑波大学), 持田泰秀 (立命館大学), 高橋 治 (東京理科大学), 福元敏之 (鹿島建設), 立石寧俊 (清水建設), 萩尾浩也 (大林組), 有山伸之 (大成建設), 緒方誠二郎 (鹿島建設), 岡崎智仁 (竹中工務店), 小宮 巖 (福井ファイバーテック), 松井孝洋 (東レ), 西田賢二 (モリマーマテックス), 蔡 高創 (福岡大学)		
設置 WG (WG 名：目的)	—		
2023 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： —	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	—
講習会	—
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	—
大会研究集会	—
対外的意見表明・パブリックコメント等	—
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 建築構造への適用を視野に入れた設計標準化の方針・設計法を『繊維強化プラスチック (FRP) 合成構造設計指針 (案)』として執筆・修正を進めているが、進捗は当初の計画より遅れている。 2. 最新の FRP 材料の建築への適用に関して、成形・ロボット技術を有効利用できる用途の可能性や、特殊な建築物の用途での応用事例、また、建築用途で必要とされる耐久性に関する情報共有を行った。 3. 2024 年度建築学会大会パネルディスカッションの開催準備を進めた。
委員会活動の問題点・課題	1. 繊維強化プラスチック材料に興味を持つ研究者・実務者を増やすことによる研究の活性化を行うことも望まれる。